



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月8日

上場会社名 日本化学産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4094 URL <http://www.nihonkagakusangyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳澤英二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 百瀬 譲

TEL 03-3873-9223

四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	5,163	10.3	627	10.4	675	12.0	482	16.2
29年3月期第1四半期	4,679	0.2	568	73.6	603	57.7	415	56.9

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 846百万円 (324.4%) 29年3月期第1四半期 199百万円 (12.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	24.43	
29年3月期第1四半期	21.02	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	38,492	31,857	82.8	1,612.49
29年3月期	37,567	31,229	83.1	1,580.65

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 31,857百万円 29年3月期 31,229百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		10.00		11.00	21.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		12.00		13.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

投資者が通期業績を見通す際に有用と思われる情報

平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,980	7.7	1,180	6.4	1,230	4.1	860	5.7	43.53
通期	20,830	5.0	2,700	5.6	2,810	3.6	1,960	7.7	99.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	20,680,000 株	29年3月期	20,680,000 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	923,015 株	29年3月期	922,910 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	19,757,067 株	29年3月期1Q	19,757,225 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日～平成29年6月30日)におけるわが国経済は、平成28年度後半からの円安、株高傾向が継続したこともあり、輸出が堅調に推移するとともに、鉱工業生産も増加傾向となりましたが、依然として、米国新政権発足後の政策運営の不確実性やその他海外政治情勢の不安定性、為替変動のリスク、また、国内における人手不足の顕在化など、景気の先行きは不透明な状況が続いています。

このような状況のもと、当社グループは、薬品・建材事業ともに新製品や新規用途開発品を中心とした販売・生産数量の確保・拡大、新規ユーザーの開拓、価格競争力を増すための低コスト体質強化に取り組むとともに、海外(タイ)子会社においては昨年12月に事業を停止したネクサス・エレケミック社の清算に向けての法的な対応、サイアム・エヌケーエス社における車載用関連製品等の安定生産、増産体制の確立に加え、めっき製品の新規ユーザー開拓、国内においては福島第一工場における二次電池用正極材受託加工の安定供給、月産600トンへの増産体制構築に向けての準備等、具体的課題への対応に尽力してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループ全体の売上高は、前年同四半期比483百万円10.3%増の5,163百万円、営業利益が前年同四半期比59百万円10.4%増の627百万円、経常利益が前年同四半期比72百万円12.0%増の675百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益が前年同四半期比67百万円16.2%増の482百万円となりました。

なお、ネクサス・エレケミック社は、清算に向けて法的な手続きを開始しておりますが、清算による連結業績への影響は、既に固定資産の減損、要員の削減等、マイナス要素を処理していることから軽微なものと考えております。

セグメントの業績は、次のとおりとなります。

[薬品事業]

主力の薬品事業は、国内においては、納入先の複数購買化、生産拠点の海外シフト等の厳しい事業環境が継続し、受託品を除く従来製品の販売数量は伸び悩んだこと、ネクサス・エレケミック社の閉鎖に伴う売上減等がありましたが、前年同四半期に比べ主要原料である非鉄金属の市場価格が高めに推移したことに伴う売価アップおよび二次電池用正極材受託加工の数量の増加による売上増加が寄与し、売上高は前年同四半期比468百万円12.0%増の4,366百万円となりました。

利益面では、サイアム・エヌケーエス社の売上減および同社におけるネクサス・エレケミック社からの固定資産、要員の一部受入れがあったものの、国内における二次電池用正極材受託加工の数量増加による利益増加がマイナス面をカバーし、営業利益は前年同四半期比71百万円14.8%増の552百万円となりました。

[建材事業]

消費税増税前の駆け込み需要の反動減の影響等により低調に推移していた新設住宅着工戸数においては幾分持ち直しの兆しが見えたものの、本格的な回復までには至らず、住宅建材関係において主力製品である防火通気見切り縁が伸び悩み、売上高は前年同四半期比15百万円2.0%増の796百万円にとどまり、営業利益は前年同四半期比7百万円3.4%減の214百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、現金及び預金が減少したものの、棚卸資産が増加したことにより、前連結会計年度末比293百万円増の24,355百万円となりました。一方、固定資産は、既存設備の減価償却が進んだことによる減少はありましたが、二次電池用正極材受託加工の更なる増産体制構築のための設備投資が増加したことにより有形固定資産が前連結会計年度末比122百万円増の6,152百万円となり、投資その他の資産も投資有価証券が株価の上昇で増加したことにより、前連結会計年度末比511百万円増の7,935百万円となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ925百万円増の38,492百万円となりました。一方、負債は、流動負債が前連結会計年度末比144百万円増の5,221百万円となり、固定負債も前連結会計年度末比152百万円増の1,413百万円となったため、全体でも前連結会計年度末比296百万円増の6,634百万円となりました。また、純資産は、前連結会計

年度末比 628 百万円増の 31,857 百万円となり、その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の 83.1% から 82.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成 30 年 3 月期の連結業績予想につきましては、現在までのところ概ね当初予想の範囲内で推移していることから、第 2 四半期連結累計期間・通期ともに平成 29 年 5 月 12 日公表の予想から変更いたしておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,506,772	14,439,217
受取手形及び売掛金	6,354,868	6,345,855
商品及び製品	857,495	1,102,894
仕掛品	1,066,476	1,091,825
原材料及び貯蔵品	998,978	1,079,061
繰延税金資産	162,286	161,739
その他	117,010	136,643
貸倒引当金	△1,770	△1,850
流動資産合計	24,062,118	24,355,387
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	1,676,983	1,628,069
その他(純額)	4,353,377	4,524,631
有形固定資産合計	6,030,360	6,152,701
無形固定資産		
	51,059	48,695
投資その他の資産		
投資有価証券	4,068,284	4,570,676
繰延税金資産	10,406	11,645
その他	3,346,826	3,355,190
貸倒引当金	△1,570	△1,570
投資その他の資産合計	7,423,947	7,935,943
固定資産合計	13,505,367	14,137,339
資産合計	37,567,485	38,492,727
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,565,896	2,601,695
短期借入金	435,600	823,000
未払法人税等	415,709	218,499
賞与引当金	380,000	214,812
役員賞与引当金	30,000	8,750
その他	1,250,090	1,354,946
流動負債合計	5,077,296	5,221,704
固定負債		
繰延税金負債	769,664	926,001
環境対策引当金	9,532	9,532
退職給付に係る負債	302,046	302,359
資産除去債務	132,417	127,817
その他	47,441	47,428
固定負債合計	1,261,101	1,413,138
負債合計	6,338,397	6,634,843

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,034,000	1,034,000
資本剰余金	613,767	613,767
利益剰余金	28,389,090	28,653,892
自己株式	△461,659	△461,824
株主資本合計	29,575,198	29,839,835
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,511,124	1,859,840
為替換算調整勘定	234,725	245,178
退職給付に係る調整累計額	△91,960	△86,971
その他の包括利益累計額合計	1,653,889	2,018,048
純資産合計	31,229,088	31,857,883
負債純資産合計	37,567,485	38,492,727

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	4,679,556	5,163,302
売上原価	3,497,687	3,871,743
売上総利益	1,181,868	1,291,559
販売費及び一般管理費	613,219	663,771
営業利益	568,648	627,787
営業外収益		
受取利息	6,249	3,237
受取配当金	34,640	40,004
不動産賃貸料	14,003	15,645
その他	6,126	9,427
営業外収益合計	61,020	68,316
営業外費用		
支払利息	3,126	2,155
売上割引	2,094	2,016
賃貸収入原価	6,478	7,230
為替差損	13,870	8,762
その他	564	0
営業外費用合計	26,133	20,165
経常利益	603,534	675,938
特別利益		
固定資産売却益	-	8,798
特別利益合計	-	8,798
特別損失		
固定資産除却損	1,126	1,912
特別退職金	7,518	-
特別損失合計	8,645	1,912
税金等調整前四半期純利益	594,889	682,824
法人税等	179,533	200,229
四半期純利益	415,356	482,595
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	415,356	482,595

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	415,356	482,595
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△135,790	348,715
為替換算調整勘定	△86,300	10,453
退職給付に係る調整額	6,250	4,989
その他の包括利益合計	△215,841	364,158
四半期包括利益	199,514	846,754
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	199,514	846,754
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,898,731	780,825	4,679,556	—	4,679,556
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,898,731	780,825	4,679,556	—	4,679,556
セグメント利益	481,169	222,176	703,345	△134,697	568,648

(注) 1. セグメント利益の調整額△134,697千円は各セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,366,995	796,306	5,163,302	—	5,163,302
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,366,995	796,306	5,163,302	—	5,163,302
セグメント利益	552,447	214,730	767,177	△139,389	627,787

(注) 1. セグメント利益の調整額△139,389千円は各セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。